

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・衛生環境担当	家畜保健衛生事業	54,685	54,685	54,739		(使) 3 (手) 15,329 (諸) 1,302	38,105
	<p>02 獣医師確保対策事業 27,111 [(一) 27,111]</p> <p>1 事業目的 家畜防疫衛生と畜産振興を推進し「家畜保健衛生所法」で定められた業務を遂行するため、修学資金の貸与制度を継続するとともに、大学就職ガイダンスへの参加や高校生対象のインターンシップ事業を行い、獣医師の確保を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 獣医師修学資金貸付金 13,200 [(一) 13,200] 「高知県獣医師修学資金貸与条例」に基づく貸付を修学年次ごとに最長6年間、継続的に実施する。</p> <p>(2) 獣医師養成確保修学資金負担金 12,550 [(一) 12,550] 県の機関(家畜保健衛生所等)に獣医師として就業する意志を有する高校3年生等に対して、家畜衛生対策推進協議会が大学入学時と大学入学後に修学資金を貸し付ける事業の1/2を負担する。</p> <p>(3) 獣医系大学就職ガイダンス参加 1,084 [(一) 1,084] 獣医系大学で開催される就職ガイダンスに参加し、高知県における公務員獣医師の仕事等について紹介し、県出身者を中心に本県への就職を促す。</p> <p>3 主な事業実績(令和元年度)</p> <p>(1) 獣医師修学資金貸付金 大学1年生1名に貸与、大学3年生1名に貸与</p> <p>(2) 獣医師養成確保修学資金負担金 私立獣医系大学に進学する県内の高校3年生2名及び大学に進学した獣医学生8名(計10名)に修学資金を貸し付ける事業の1/2を負担</p> <p>(3) 獣医系大学就職ガイダンス参加 17大学中13大学の就職ガイダンスに参加し、78名の学生に説明を実施</p>						

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳																																																		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源																																																
	家畜伝染病 予防事業	30,977	41,659	45,279	16,527	(諸) 2,315	26,437																																																
畜産振興課・衛生環境担当	01 家畜伝染病予防事業 31,130 [(一)19,120 (国)12,010]																																																						
	1 事業目的 家畜伝染病予防法に定められた伝染性疾病について検査を行い、伝染病の発生予防及び畜産農家の衛生意識の高揚を図る。																																																						
	2 根拠法令等 家畜伝染病予防法、牛海綿状脳症対策特別措置法																																																						
	3 事業内容 (1) 家畜伝染病予防事業 伝染病の発生予防及びまん延防止を図るため、家畜伝染病予防法に定められた下記の伝染性疾病について検査を行う。																																																						
	検査内容																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>検査実施項目</th> <th>R2年度実施予定頭数</th> <th>検査実施項目</th> <th>R2年度実施予定頭数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牛結核病</td> <td>100頭</td> <td>豚繁殖・呼吸障害症候群</td> <td>374頭</td> </tr> <tr> <td>牛ブルセラ病</td> <td>450頭</td> <td>豚伝染性疾病</td> <td>55,000頭</td> </tr> <tr> <td>牛流行熱等</td> <td>240頭</td> <td>ニューカッスル病</td> <td>200羽</td> </tr> <tr> <td>牛ヨーネ病</td> <td>5,477頭</td> <td>高病原性鳥インフルエンザ*</td> <td>2,420羽</td> </tr> <tr> <td>牛白血病</td> <td>400頭</td> <td>鶏マイコプラズマ病</td> <td>200羽</td> </tr> <tr> <td>牛ウイルス性下痢・粘膜炎</td> <td>100頭</td> <td>家きんサルモネラ感染症</td> <td>200羽</td> </tr> <tr> <td>牛伝染性疾病</td> <td>43,000頭</td> <td>鶏伝染性疾病</td> <td>728,000羽</td> </tr> <tr> <td>伝達性海綿状脳症</td> <td>53頭</td> <td>腐蛆病</td> <td>650群</td> </tr> <tr> <td>馬伝染性疾病</td> <td>66頭</td> <td>蜜蜂伝染性疾病</td> <td>600群</td> </tr> <tr> <td>CSF (豚熱)</td> <td>510頭</td> <td>その他の家畜の伝染病</td> <td>110頭</td> </tr> <tr> <td>豚オーエスキー病</td> <td>238頭</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							検査実施項目	R2年度実施予定頭数	検査実施項目	R2年度実施予定頭数	牛結核病	100頭	豚繁殖・呼吸障害症候群	374頭	牛ブルセラ病	450頭	豚伝染性疾病	55,000頭	牛流行熱等	240頭	ニューカッスル病	200羽	牛ヨーネ病	5,477頭	高病原性鳥インフルエンザ*	2,420羽	牛白血病	400頭	鶏マイコプラズマ病	200羽	牛ウイルス性下痢・粘膜炎	100頭	家きんサルモネラ感染症	200羽	牛伝染性疾病	43,000頭	鶏伝染性疾病	728,000羽	伝達性海綿状脳症	53頭	腐蛆病	650群	馬伝染性疾病	66頭	蜜蜂伝染性疾病	600群	CSF (豚熱)	510頭	その他の家畜の伝染病	110頭	豚オーエスキー病	238頭		
	検査実施項目	R2年度実施予定頭数	検査実施項目	R2年度実施予定頭数																																																			
	牛結核病	100頭	豚繁殖・呼吸障害症候群	374頭																																																			
	牛ブルセラ病	450頭	豚伝染性疾病	55,000頭																																																			
	牛流行熱等	240頭	ニューカッスル病	200羽																																																			
牛ヨーネ病	5,477頭	高病原性鳥インフルエンザ*	2,420羽																																																				
牛白血病	400頭	鶏マイコプラズマ病	200羽																																																				
牛ウイルス性下痢・粘膜炎	100頭	家きんサルモネラ感染症	200羽																																																				
牛伝染性疾病	43,000頭	鶏伝染性疾病	728,000羽																																																				
伝達性海綿状脳症	53頭	腐蛆病	650群																																																				
馬伝染性疾病	66頭	蜜蜂伝染性疾病	600群																																																				
CSF (豚熱)	510頭	その他の家畜の伝染病	110頭																																																				
豚オーエスキー病	238頭																																																						
(2) 全戸全頭立入検査の実施 立入検査委託料 14,226 [(一) 14,226] ・委託内容：全頭検査及び死亡牛確認等の一部を委託する ・委託先：高知県農業共済組合、民間獣医師																																																							
(3) 職員研修の実施 ① 家畜衛生研修会 (病性鑑定特殊講習会) ② 家畜衛生講習会 (基本、総合、牛疾病、豚疾病、鶏疾病、疫学、海外悪性伝染病)																																																							

02 BSE検査体制強化事業 4,143 [(一)2,002 (国)2,141]

1 事業目的

BSEの県内発生の防止及び予察体制を充実させる。

2 根拠法令等

家畜伝染病予防法、牛海綿状脳症対策特別措置法

3 事業内容

・96ヶ月齢以上の死亡牛の全頭検査の実施

①BSE検査キットの購入等

②検体採取補助業務委託料 1,656 [(一)829、(国)827]

委託内容：死亡牛のBSE検査に必要な延髄採材時の家畜防疫員の補助業務

委託先：(一社)高知県肉用子牛価格安定基金協会

★03 CSF・ASF防疫体制強化事業 10,006 [(一)5,315 (国)2,376 (諸)2,315]

1 事業目的

CSF(豚熱)・ASF(アフリカ豚熱)について、県内における発生防止、予察及びまん延防止体制の強化を図る。

2 事業内容

(1) 消毒業務委託料 1,796 [(一) 1,796]

県内へのウイルス侵入防止のため、水際対策として高知龍馬空港、高知新港において旅客の靴底消毒を実施する。

(2) 試掘確認調査委託料 841 [(一) 841]

感染まん延防止のため埋却作業を早期、確実に実施できるよう埋却候補地の事前試掘調査を実施する。

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・衛生環境担当	衛生環境対策事業費	8,710	8,710	4,549	2,273		2,276
	<p>1 事業目的 家畜保健衛生所が中心となり、地域における家畜衛生対策の検討を行い、家畜衛生上問題となっている疾病の実態を明らかにし、迅速かつ的確な衛生指導を実施する。</p> <p>2 事業内容 迅速かつ的確な衛生指導を実施するため、下記の各種対策に係る調査、検討及び検討会の開催を行う。</p> <p>(1) 監視・危機管理体制の整備 ①家畜衛生関連情報整備 ②精度管理体制の確立</p> <p>(2) 慢性疾病等の低減</p> <p>(3) 生産衛生の確保 ①鶏卵衛生管理体制整備 ②動物用医薬品危機管理</p> <p>(4) 家畜衛生対策の推進に係る関連機器の整備</p>						
課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	畜産総合対策推進事業	6,097	6,097	8,786		(手) 2 (諸) 3,065	5,719
	<p>03 畜産経営技術指導事業 5,165 [(一) 5,165]</p> <p>1 事業目的 畜産環境の複雑化、技術の高度化に対応した指導方針の策定と支援体制を整備し、先進的畜産経営体、後継者、新規就農者及び地域集団に対する重点指導を実施することにより、本県畜産の担い手を育成し、畜産業の体質強化を図る。</p> <p>2 根拠法令等 地域畜産総合支援体制整備事業実施要領</p> <p>3 事業内容 畜産経営技術指導委託料 5,165 [(一) 5,165] 委託内容：①生産・経営技術情報のデータベース管理 ②肉用牛情報の普及広報 ③畜産農家同士の研修会開催 ④畜産経営体及び新規就農者の就農指導、新規就農相談会 委託先：一般社団法人高知県畜産会</p> <p>4 主な事業実績（令和元年度） ・県内畜産経営体に対して個別の経営指導を実施 60回 ・畜産関係のホームページの運営 ・『高知県肉用牛情報』の発行（2回）</p>						

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	畜産生産基盤強化事業	45,062	45,062	246,176	187,153		59,023
	<p>14 レンタル畜産施設等整備事業 56,865 [(一)56,865]</p> <p>1 事業目的 畜産生産基盤の維持・拡大を図るため、新規就農や規模拡大に要する畜産施設等整備の取り組みに対して支援する。</p> <p>2 事業内容 レンタル畜産施設等整備事業費補助金 56,566 [(一)56,566] 市町村又は農業協同組合が行うレンタル畜産施設等の整備に要する経費について、市町村が補助する事業に対して補助する。 補助先：市町村 実施主体：市町村、農協 補助率：1/3以内(中山間地域及び災害復旧区分においては2/5以内)</p> <p>3 主な事業実績(令和元年度) ・肉用牛4戸(仁淀川町、津野町、室戸市) ・養鶏1戸(四万十町)</p> <p>16 畜産競争力強化整備事業 187,347 [(一)194 (国)187,153]</p> <p>1 事業目的 畜産業を核とした地域産業を維持・拡大、強化するため、地域の中心的な畜産経営体等(1戸1法人を含む)が実施する家畜飼養管理施設等の整備を支援する。</p> <p>2 事業内容 ◎畜産競争力強化整備事業費補助金 187,153 [(国)187,153] 地域協議会等が作成する畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な畜産経営体等(1戸1法人を含む)が実施する家畜飼養管理施設等の整備に要する経費について、市町村が補助する事業に対して補助する。 補助先：市町村 実施主体：地域協議会等 補助率：1/2以内(国1/2以内) 補助期間：令和2年度</p> <p>★18 大規模畜産施設整備事業 ※R2～3年度 債務負担行為 40,000</p> <p>1 事業目的 中山間地域において、地域の中心的な畜産経営体等が行う基盤整備を伴う大規模な施設整備に対して支援する。</p> <p>2 事業内容 大規模畜産施設整備事業費補助金 ※R2～3年度 債務負担行為 40,000 補助先：市町村 実施主体：地域協議会 取組主体：生産者 補助率：施設整備に要する経費の1/6以内 補助期間：令和2～3年度(債務負担)</p>						

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	土佐あかうし増頭対策事業	176,751	159,806	174,208		(手) 9 (財) 57,490 (諸) 40	116,669
	<p>03 土佐あかうし受精卵移植用乳用牛貸付事業 64,507 [(一)26,289 (財)38,218]</p> <p>1 事業目的 土佐あかうし受精卵を移植する乳用牛を県が導入して酪農家に貸付け、生産された子牛は酪農家から県に納付を受けて育成し、肥育農家に販売することにより、肥育もと牛供給の安定化を図る。</p> <p>2 事業内容 土佐あかうし受精卵移植用乳用牛貸付事業委託料 37,624 [(一)26,289 (財)11,335]</p> <p>(1) 土佐あかうし受精卵移植用乳用牛貸付委託料 受精卵移植用乳用牛の導入、受精卵の生産及び移植を委託 委託先：高知県農業協同組合</p> <p>(2) 土佐あかうし受精卵産子育成委託料 受精卵産子牛の育成を委託 委託先：土佐町酪農業協同組合、福永牧場</p> <p>06 土佐あかうし改良増殖推進事業 32,617 [(一)25,052 (財)7,525 (諸)40]</p> <p>1 事業目的 土佐あかうしの生産性向上と品質面の優位性を確保するため、優秀な種雄牛や繁殖雌牛の造成を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 土佐あかうし肥育研究委託料 1,193 [(一) 1,193] 種雄牛候補の産肉能力検定及び肥育試験、遺伝子型調査を委託 委託先：国立大学法人高知大学</p> <p>(2) 家畜販売委託料 526 [(一) 526] 肥育牛のと体の販売を委託 委託先：高知県農業協同組合</p> <p>(3) 牛性判別精液生産委託料 616 [(一) 616] 凍結性判別精液の生産を委託 委託先：(一社)家畜改良事業団</p>						

09 土佐和牛担い手確保対策事業 1,705 [(一) 1,705]

1 事業目的

土佐和牛農家の担い手を確保・育成するため、生産地での研修等を支援するとともに、就農に向けた仕組みづくりを進める。

2 事業内容

土佐和牛担い手確保対策事業費補助金 720 [(一) 720]

新規就農希望者の農家へのインターンシップの取り組みに対して補助する。

補助先：市町村

補助率：1/2以内

3 主な事業実績（令和元年度）

- ・新規就農希望者のインターンシップの開催（土佐町）

10 土佐あかうし受精卵移植強化事業 30,459 [(一)18,703 (財)11,747 (手)9]

1 事業目的

県内公共牧場や酪農家牛舎での乳用牛への受精卵移植を推進し、土佐あかうし子牛を増産する体制を整備する。

2 事業内容

(1) 土佐あかうし受精卵生産委託料 710 [(一) 710]

土佐あかうしの受精卵の生産を委託

委託先：国立大学法人高知大学

(2) 家畜販売委託料 335 [(一) 335]

廃用牛のと体の販売を委託

委託先：高知県農業協同組合

(3) 土佐あかうし増頭対策事業費補助金 2,892 [(一) 2,892]

酪農家所有の乳用牛を公共牧場に預託して土佐あかうし受精卵を移植するとともに、優良な土佐あかうし子牛を生産する事業に対して補助する。

補助先：高知県農業協同組合

補助率：1/2以内

3 主な事業実績（令和元年度）

- ・土佐あかうし受精卵の生産、移植、子牛の哺育育成の実施
- ・移植用乳用牛の公共牧場への輸送の実施

12 次世代こうち新畜産システム (IoTの活用) 推進事業 4,170 [(一) 4,170]

1 事業目的

県内での土佐あかうし増産に資する繁殖技術を強化するとともに、生産性向上のための発情検知と情報共有化に係るIoT機器の活用により、土佐あかうし子牛生産の増加を図る。

2 事業内容

土佐あかうしの生産性向上のため、家畜保健衛生所並びに畜産試験場にIoT機器を配備し、農家での発情検知と情報共有化の実証を行う。

3 主な事業実績 (令和元年度)

- ・実証モデル農家 11戸

◎13 土佐和牛経営安定対策推進事業 40,750 [(一) 40,750]

1 事業目的

土佐和牛増頭のため、肉用牛経営に要する経費に対して市町村が行う基金造成を支援するとともに、土佐和牛繁殖雌牛の導入や自家保留を促進させるための取り組みに対し補助する。

2 事業内容

(1) 土佐和牛経営安定対策推進事業費補助金 40,750 [(一) 40,750]

①土佐和牛経営安定基金造成

肉用牛導入・保留に要する経費に対する市町村が行う基金造成に対し支援する。

補助先：市町村

補助率：1/3以内

補助期間：平成31～令和3年度

補助対象経費：もと牛導入・保留経費 900千円×100頭=90,000千円

②土佐和牛繁殖用雌牛保有支援

土佐和牛繁殖雌牛の導入や自家保留を促進するための取り組みに対し支援する。

補助先：高知県農業協同組合

実施主体：高知県農業協同組合

補助率：1/2以内

補助期間：平成31～令和3年度

補助対象経費：繁殖用雌牛導入促進 100千円×70頭=7,000千円

繁殖用雌牛導入促進 (県外から) 100千円×10頭=1,000千円

繁殖用雌牛保留促進 100千円×135頭=13,500千円

3 主な事業実績 (令和元年度)

- ・土佐和牛経営安定基金造成 : 4市町村 (室戸市、安田町、本山町、大川村)
- ・土佐和牛繁殖雌牛の導入及び保留を支援

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	酪農振興事業	5,992	5,992	8,045			8,045
	<p>01 乳用牛群検定推進事業 5,045 [(一) 5,045]</p> <p>1 事業目的 酪農の健全で効率的な発展のため、乳量、乳質等の検定結果の分析・活用を推進することにより、乳用牛の改良と先進的酪農家の育成を図る。</p> <p>2 事業内容 (1) 乳用牛群検定推進事業費補助金 2,225 [(一) 2,225] 酪農家の牛群管理技術、経営の向上を図る事業に対し補助する。 補助先：高知県農業協同組合 補助率：40%以内 補助期間：令和2年度 根拠法令等：高知県乳用牛群検定推進事業実施要領</p> <p>(2) 第15回全日本ホルスタイン共進会出品事業費補助金 631 [(一) 631] 5年に1回開催される第15回全日本ホルスタイン共進会に本県代表の乳牛を出品する事業に対し補助する。 補助先：第15回全日本ホルスタイン共進会高知県実行委員会 補助率：1/2以内 補助対象経費：出品牛輸送費、出品農家負担金、出品関連資材費</p> <p>3 主な事業実績（令和元年度） ・牛群検定を実施している酪農家23戸に対して牛群検定結果の分析・活用の指導を実施。</p> <p>03 乳用後継牛確保対策事業 3,000 [(一) 3,000]</p> <p>1 事業目的 酪農家の高能力な後継牛の効率的な確保により安定的な生乳生産を図るため、性判別凍結精液の利用の促進に対して支援する。</p> <p>2 事業内容 乳用後継牛確保対策事業費補助金 3,000 [(一) 3,000] 乳牛の後継牛確保を促進するための取組に対し補助する。 補助先：高知県農業協同組合 補助率：2/5以内 補助対象経費：性判別凍結精液 2千円×1,500本</p> <p>3 主な事業実績（令和元年度） ・性判別凍結精液 1,050本の購入に対し補助を行った。</p>						

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	養豚・養鶏振興事業	27,249	27,249	20,871		(手) 39 (財) 2,086	18,746
	<p>04 こうちの地鶏生産基盤拡大事業 4,566 [(一)4,566]</p> <p>1 事業目的 「土佐ジロー」「土佐はちきん地鶏」の飼育農家を支援し、生産基盤の維持・規模拡大・強化による販売拠点づくりを継続するとともに、新規農家の飼養管理施設整備の取り組みに対して支援する。</p> <p>2 事業内容 小規模鶏舎整備事業費補助金 4,500 [(一)4,500] 土佐ジロー及び土佐はちきん地鶏を飼育する農家が行う簡易な鶏舎の整備に要する経費について、高知県土佐ジロー協会又は高知県土佐はちきん地鶏振興協議会が補助する事業に対し補助する。 補助先：高知県土佐はちきん地鶏振興協議会、高知県土佐ジロー協会 補助対象経費：①鶏舎の新築及び既存鶏舎の増改築に係る経費 ②鳥インフルエンザ対策のための鶏舎放飼場への屋根の設置等、野鳥進入防止対策の整備に係る経費 補助率：1/2以内（補助上限額：鶏舎1棟あたり200万円）</p> <p>3 主な事業実績（令和元年度） ・3戸4棟（高知市、四万十市、いの町）</p> <p>07 畜産環境対策推進事業 3,981 [(一)3,981]</p> <p>1 事業目的 畜産物生産基盤の拡大、強化を図るため、地域で取り組む環境対策技術の導入を促進する。</p> <p>2 事業内容 畜産環境対策推進事業費補助金 3,000 [(一)3,000] 地域協議会等が取り組む環境対策技術の導入に要する経費について、市町村が補助する事業に対し、補助する。 補助先：市町村 実施主体：地域協議会等 補助対象経費：モデル農家における環境対策技術の実証に要する経費 補助率：1/2以内</p> <p>3 主な事業実績（令和元年度） ・養豚1戸、肉用牛1戸（四万十町）において、環境対策資材を導入。 ・畜産環境対策に関する勉強会の開催（四万十町）。</p>						

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・食肉センター整備準備室	食肉処理施設整備推進事業	48,103	48,103	1,374,985		(諸) 665,603 (債) 701,000	8,382
	<p>1 事業目的</p> <p>県内2箇所の食肉センターは、耐用年数が経過し、老朽化が進んでおり、可能な限り早期に建替整備をする必要がある。</p> <p>食肉センターは、本県全体の畜産振興、さらには安全・安心な食肉の供給といった観点から極めて重要な役割を担う「公共インフラ」であり、県内に存続し、かつ、産地や消費地の近くにあることが求められる必要不可欠な施設であることから、新たに高度な衛生管理ができる食肉処理施設を建替整備する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>◎食肉処理施設整備推進事業費補助金 1,372,182 [(一)5,579 (諸)665,603 (債)701,000]</p> <p>補助先：①新食肉センター整備推進協議会 ②高知県食肉センター株式会社</p> <p>補助率：①1/2：新たな食肉処理施設の整備を推進するために必要な費用 ②定額：建設工事に要する経費 (総整備費用に占めると畜部分の整備費用の割合分)</p> <p>補助期間：①令和2年度 ②令和2～3年度</p> <p>3 主な事業実績(令和元年度)</p> <p>食肉処理施設整備推進事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新食肉センターを整備及び運営を担う会社「高知県食肉センター株式会社」を設立 ・高知県食肉センター株式会社が新食肉センターの実施設計に着手 						

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	畜産試験場 管理運営事業	38,801	38,801	38,313		(使) 567 (財) 915 (諸) 93 (債) 5,000	31,738
	<p>03 畜産試験場施設整備事業 11,391 [(一)6,391 (債)5,000]</p> <p>1 事業目的 畜産試験研究の効率的推進のため、機器類や農機具等の整備を行うとともに、施設の耐震化、長寿命化を図る改築・改修を行う。</p> <p>2 事業内容 (1) 構内コンクリート柱建替工事 (2) 研究企画課詰所便所改修工事 (3) 種雄牛放牧場鉄柵設置工事</p> <p>06 畜産担い手育成畜舎整備事業 1,606 [(一)1,100 (使)506]</p> <p>1 事業目的 畜産の担い手育成のため、肉用牛飼養管理の実践研修を行う畜産担い手育成畜舎等の整備及び管理運営を行う。</p> <p>2 事業内容 令和2年4月に開設する畜産担い手育成畜舎、管理棟兼飼料庫及び研修生の宿泊施設の設備・備品等を整備する。</p>						

(単位：千円)

課名等	事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	畜産業試験研究事業	71,580	63,281	79,255		(財) 5,165 (諸) 6,855	67,235
	<p>01 畜産業試験研究事業 20,832 [(一)9,981 (財)5,165 (諸)5,686]</p> <p>1 事業目的 畜産農家の収益性向上を図るため、生産現場のニーズに基づく技術開発を促進するとともに、消費者に対する安全・安心で高品質な畜産物の安定供給とブランド化に向けた技術等を改善・開発する。</p> <p>2 事業内容 試験研究課題（継続課題5題、新規課題1題） (1) 土佐ジロー・父系からのアプローチ～人工授精技術の検討～（令和2～4年度） (2) 土佐はちきん地鶏の未利用資源等を活用した生産技術（平成30～令和2年度） (3) 周年親子放牧技術の検討（令和元～4年度） (4) ユズ精油抽出残渣の利用拡大と給与豚肉のブランド力強化の検討（令和元～3年度） (5) 土佐あかうしにおける「おいしさ」の特徴及び要因解析（平成30～令和2年度） (6) 土佐和牛のオレイン酸による指標化（令和元～3年度）</p> <p>02 畜産技術支援事業 2,550 [(一)1,523 (諸)1,027]</p> <p>1 事業目的 県内の畜産振興を図るため技術支援を行う。</p> <p>2 事業内容 技術支援事業（新規課題3題） (1) 畜産環境・飼料総合対策支援（令和2年度） (2) 預託牧場における受精卵移植の受胎率改善（令和2～3年度） (3) 高能力飼料作物品種選定調査委託試験（令和2～4年度）</p>						